2006年1月31日

2006年３月期第３四半期決算
補足説明資料

会社名　　株式会社キューブシステム
代表者氏名　代表取締役社長　﨑山　收
（ジャスダック上場　コード番号２３３５）
問合せ先　　専務取締役　　内田　敏雄
（ＴＥＬ：０３－５４２１－３８２６）

CUBE SYSTEM

2006年３月期 第３四半期業績 概況

連結業績 売上高が堅調に増加

- ◆　通信業向けＳＩ[*1]サービスの売上増
- ◆　流通業向けＯＳ[*2]サービスの売上増
- ◆　サービス業、医療向けＳＩサービスの売上増

＊1　システムインテグレーション
＊2　アウトソーシング

株式会社キューブシステム（以下：当社、本社：東京都品川区、代表取締役：﨑山收）の２００６年３月期第３四半期累計（以下：当第３四半期）の連結業績は売上高５，３５５百万円、経常利益３８０百万円、当第３四半期純利益２２４百万円となりました。

当第３四半期の業績概況として特筆すべきものは、以下の三点となっております。

①　通信業向けシステムインテグレーション・サービスの売上が増加
携帯電話会社向けサービス、電力系通信事業会社向けサービスの受注が好調であり、当第３四半期における売上高は６２９百万円（前年同期比＋２５１百万円）。

②　流通業向けアウトソーシング・サービスの売上が増加
小売業向けサービス、コンビニエンスストアチェーン向けサービスの受注が好調であり、当第３四半期における売上高は７６６百万円（前年同期比＋１７３百万円）。

③　サービス業、医療業向けシステムインテグレーション・サービスの売上が増加
レンタル事業向けサービス、医療業向けサービスの受注が好調であり、当第３四半期における売上高は４１８百万円（前年同期比＋１２２百万円）。

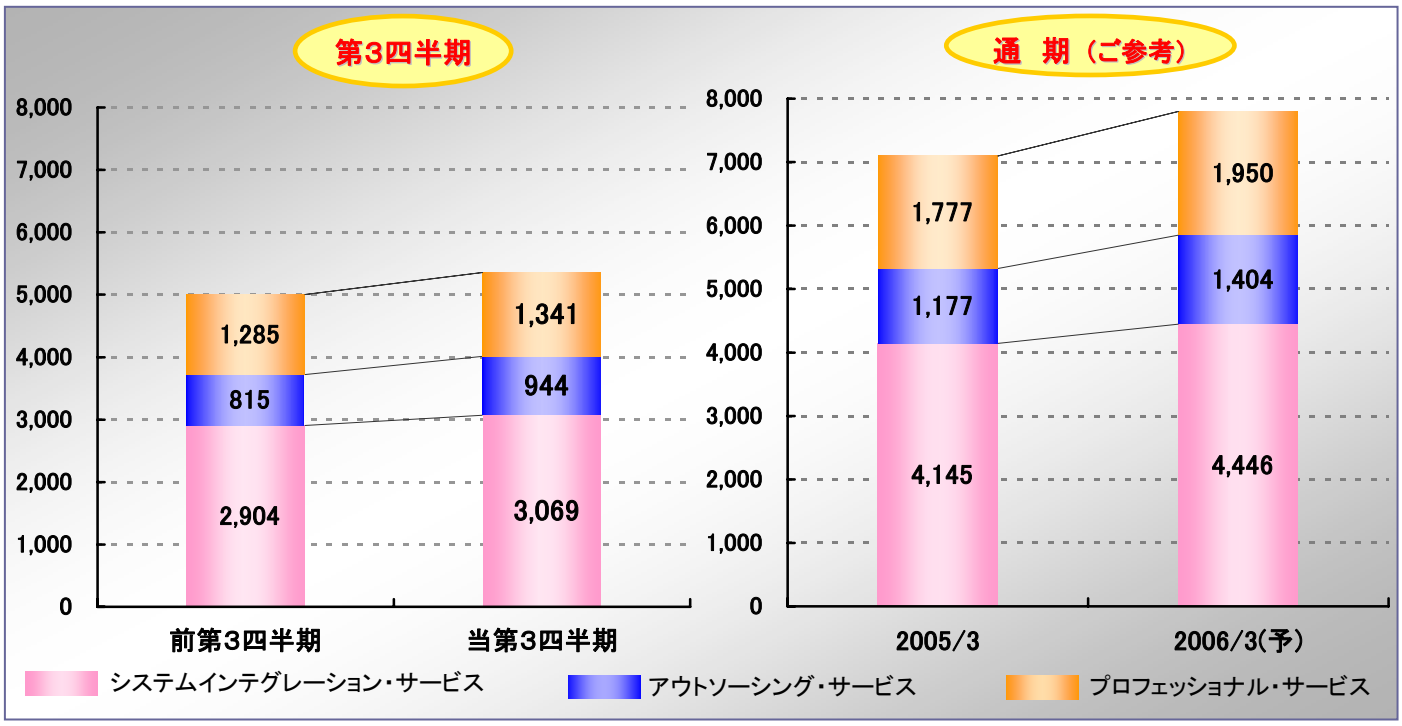
また、当第３四半期の売上総利益率は１７．０％となりました。２００５年３月期第３四半期（以下：前第３四半期）の売上総利益率と比較すると０．７％高くなっております。経常利益率は７．１％となりました。前第３四半期の経常利益率と比較すると１．２％低下しておりますが、これは内部統制機能の強化を図るために行ったシステム化投資等によるものであります。

(※)この文章は、一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能となる情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

通信業向けＳＩＳ[*1]、流通業向けＳＯＳ[*2]の売上が増加

＊1 システムインテグレーション・サービス
＊2 システムアウトソーシング・サービス

■サービス品目別業績推移（単位：百万円 ，％）



	前第３四半期			当第３四半期				
	売上高	売上総利益	利益率	売上高	前年同期比	売上総利益	前年同期比	利益率
ｼｽﾃﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	2,904 (58.0)	411 (50.4)	14.2	3,069 (57.3)	＋5.7	463 (50.8)	＋12.5	15.1
ｼｽﾃﾑｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ・ｻｰﾋﾞｽ	815 (16.3)	129 (15.8)	15.9	944 (17.7)	＋15.8	156 (17.2)	＋20.9	16.5
ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ・ｻｰﾋﾞｽ	1,285 (25.7)	276 (33.8)	21.5	1,341 (25.0)	＋4.3	291 (32.0)	＋5.6	21.8
合　計 (ｼｽﾃﾑｿﾘｭｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ)	5,005	817	16.3	5,355	＋7.0	911	＋11.5	17.0

※　括弧内の数字は売上高・売上総利益における各品目の構成比を表しております。

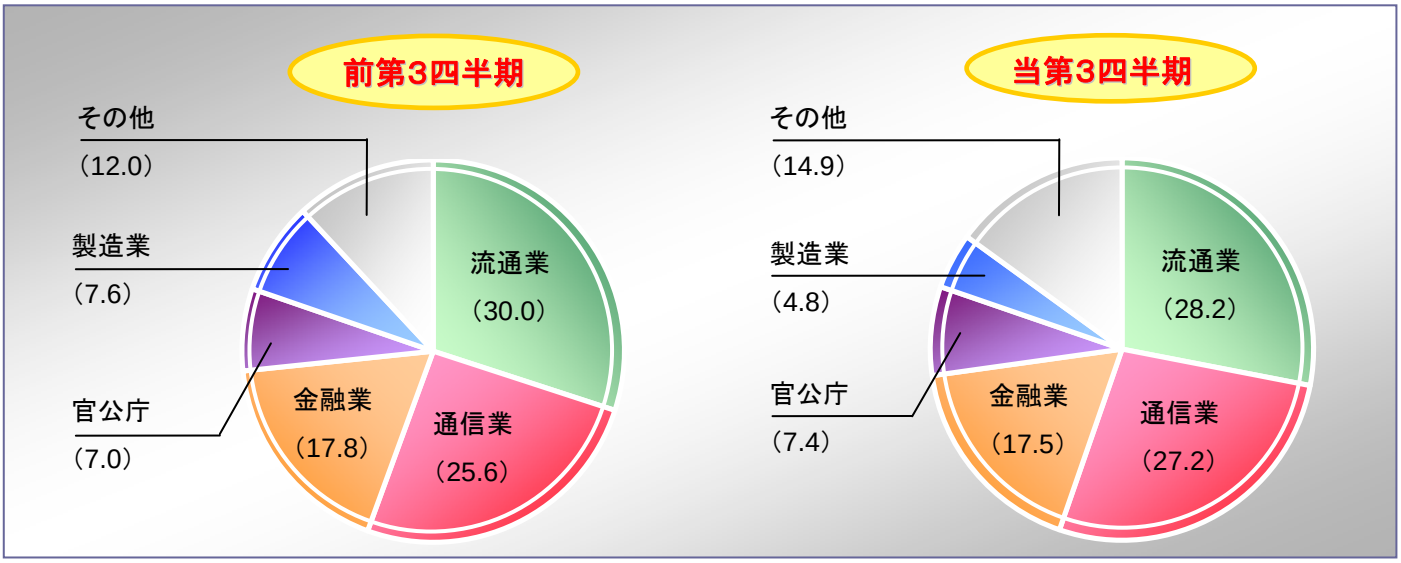
	主　な　変　動　要　因
ｼｽﾃﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	・小売業向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(前年同期比＋113 百万円) ・ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱﾁｪｰﾝ向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋76 百万円) ・携帯電話会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋67 百万円) ・都市銀行向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋57 百万円) ・ﾎｰﾑｾﾝﾀｰ向けｻｰﾋﾞｽの売上高縮小(同△112 百万円)
ｼｽﾃﾑｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ・ｻｰﾋﾞｽ	・小売業向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋73 百万円) ・ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱﾁｪｰﾝ向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋42 百万円)
ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ・ｻｰﾋﾞｽ	・通信事業会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋76 百万円) ・証券取引所向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋35 百万円) ・都市銀行向けｻｰﾋﾞｽの売上高縮小(同△24 百万円)

(※)この文章は、一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能となる情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

ｻｰﾋﾞｽ業・医療向け案件の好調によりその他の売上が増加

官公庁・通信業向けｻｰﾋﾞｽも好調

■業種別売上高推移（単位：百万円 ，％）



※　括弧内の数字は売上高の構成比を表しております。

	前第３四半期	当第３四半期	前　年同期比	主な変動要因
流通業	1,502 (30.0)	1,508 (28.2)	＋0.3	・小売業向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(前年同期比＋186 百万円) ・ﾎｰﾑｾﾝﾀｰ向けｻｰﾋﾞｽの売上高縮小(同△112 百万円)
通信業	1,282 (25.6)	1,454 (27.2)	＋13.4	・携帯電話会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋67 百万円) ・電力系通信事業会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋50 百万円) ・携帯電話会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋20 百万円)
金融業	888 (17.8)	937 (17.5)	＋5.5	・証券取引所向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋35 百万円) ・都市銀行向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋32 百万円)
官公庁	348 (7.0)	397 (7.4)	＋14.2	・独立行政法人向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋42 百万円)
製造業	382 (7.6)	258 (4.8)	△32.4	・工業製品製造会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高縮小(同△19 百万円) ・鉄鋼会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高縮小(同△16 百万円)
その他	601 (12.0)	799 (14.9)	＋32.9	・ﾚﾝﾀﾙ事業向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋116 百万円) ・医療業向け案件の売上高拡大(同＋93 百万円) ・通信事業会社向けｻｰﾋﾞｽの売上高拡大(同＋76 百万円)

※　括弧内の数字は売上高における各業種の構成比を表しております。

■品目別受注高及び受注残高（単位：百万円）

品　目	前第３四半期		2005/3 期		当第３四半期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ｼｽﾃﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	2,789	1,041	4,048	1,059	3,257	1,247
ｼｽﾃﾑｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ・ｻｰﾋﾞｽ	760	306	1,173	357	949	362
ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ・ｻｰﾋﾞｽ	1,441	486	1,887	441	1,474	573
合　　計	4,992	1,834	7,109	1,857	5,680	2,183

(※)この文章は、一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能となる情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。